

社員を幸せにし、業界のイメージを転換する“見せる”五感経営

～専務が語る！石坂産業の進化と取組み～

いしざか ともこ
講師：石坂 知子氏（石坂産業株式会社 専務取締役）

（2018 年度日本経営品質賞経営革新推進賞受賞企業）

日時：令和 2 年 1 月 21 日（火）14:00～17:00

会場：水戸プラザホテル

会費：ICPE 会員 無 料（何名様でも）

非 会 員 3,000 円（お一人様）

石坂産業は、知子氏の叔父にあたる石坂好男氏がトラック一台から 1967 年にスタートした産業廃棄物業者です。好男氏は、東京の埋め立て地「夢の島」で、まだ使えるモノが大量廃棄される様子を目にして以来、再生事業を着想したそうです。1997 年に 16 億円を投資して環境配慮型で最新鋭の焼却炉を建設。年間 20 トンものゴミを処理してきました。ところが 1999 年、ダイオキシン問題が発生し、近隣の住民や農家から「出ていけ」の横断幕が貼られるなどし、行政訴訟にまで発展しました。知子氏は、「ゴミを出すのは誰なのか。必要とされる仕事をしている社員が浮かばれない。社員のやる気をアップさせたいと考えた」と当時を振り返ります。その後 10 年をかけて、労働環境を改善する全天候型再生プラントを建設しました。そして屋外で作業していた業界の一般スタイルを改め、風雨にさらされない屋内で作業を行うことができるようになりました。尚、こうした過程では焼却炉の解体を含め約 60 億円の借金をしたといえます。「ネット上では、当時オウム真理教が話題になる中、“石坂サティアン”などと揶揄されたりもしたそうです。それなら内部を公開しようと、2 億円を追加投資して見学通路を整備しました。今では毎年 3 万人が工場見学に訪れている」と、“見せる”ことが功を奏したといえます。

現在、石坂産業は、これまでの産廃業者のイメージを転換し、美しい雑木林の広がる地域や自然と共存する里山を周囲に築くなど、産業廃棄物中間処理業として「自然と美しく生きる」企業づくりを進めています。石坂知子氏は 2004 年から ISO 管理責任者として「経営の見える化」に取り組み、7 つの ISO 規格の認証を推進しています。そして「7 種統合マネジメントシステム」により業務の標準化と改善を図っています。またワーク・ライフバランスを早くから導入し、現在「女性や子育て世代の社員が働きやすい職場環境の改善」に業界でも先進的に取り組んでいます。

今回の新春月例会では石坂知子専務をお招きし、石坂産業の経営に対する考え方、人財育成、ISO の推進、見せる経営等についてご講演頂きます。

経営者及び経営幹部の皆様、そして CSR や人財育成担当の皆様の特におすすめの講演となります。多数のご参加をお待ちしております。

社員を幸せにし、業界のイメージを転換する“見せる”五感経営

～専務が語る！石坂産業の進化と取り組み～

講師：石坂 知子氏（石坂産業株式会社 専務取締役）

（2018年度日本経営品質賞経営革新推進賞受賞企業）

日時：令和2年1月21日（火）14：00～17：00

会場：水戸プラザホテル

会費：ICPE会員：無料（何名様でも）

非会員：3,000円（お一人様）

※尚、後日請求書を郵送させていただきます。

お申込書 ※申込締切 1月20日（月）

F A X 029-243-5374 e-mail icpe.kikuchi@nifty.com

会社名 ICPE 会員企業
（申し込み中も含まれます）
 非会員企業

住所 〒 —

電話番号 F A X 番号

参加者氏名 役職

参加者氏名 役職

参加者氏名 役職

参加者氏名 役職

◆ お問い合わせ ◆

NPO法人 茨城県経営品質協議会（菊池）水戸市笠原町 1189-2 グリーンヒル西野ビル 2F

TEL 029-306-7357 FAX 029-243-5374 URL <http://www.icpe.or.jp>

※今回の申込データにつきましては、請求書の送付、セミナーのご案内、講師への名簿参照及び受付名簿以外の目的では使用しません。また、細心の注意をもって管理し、個人情報の漏洩、紛失、き損又は参加企業様の権利利益を損なうことの無いよう努めます。